

第 1631 回例会報告

会長挨拶

会長 西澤賢二

バレンタインディ

2月14日明日はバレンタインデーです

皆さんも沢山チョコレートを貰うと思いますが何故チョコレートなのでしょう。由来はローマ帝国の時代に2月14日はすべての神の女王で家庭と結婚の神、女神ユーノーの祝日だったようです。

当時の若い男女は生活が別で2月15日豊年を祈願するお祭り(ルペルカリア祭り)が有りそのお祭りの前日に女性が桶の中に自分の名前を書いた札を入れそれを若い男性が引きお祭り中パートナーとして一緒にいる事と定められていて多くの男女はそのまま恋に落ちて結婚した。しかしローマ帝国の皇帝クラウディウス2世は愛する人を故郷に残した兵士がいると士気が下がるという理由で兵士たちの婚姻を禁止したがウァレンティヌス(アレンタイン)が内緒で兵士たちの結婚式を行



露の臺 小林聖仁会員撮影

ったためあえて2月14日に処刑された。その後キリスト教徒にとってこの日は祭日となり恋人たちの日になったように

日本型のバレンタインデーが定着したのは1970年代後半のようですが1936年に神戸にあるモロゾフ製菓がバレンタインチョコを最初に考案した仕掛

令和2年2月13日(木)晴れ

け人広告で『あなたのバレンタインデーにチョコレートを贈りましょう』が最も古いと言われています

皆さんご存知ですか送られるチョコレートの種類、本命に送る本命チョコ友人として贈る義理チョコ同性(女性同士)ともチョコ、男が女性に送る逆チョコ 自分で食べる自己チョコ、男性が男友達に送る強敵チョコがあります

ちなみにホワイトデーの発生は日本です。大したものですね日本の商業活動、諏訪湖ロータリークラブも日本の商業活動を見習って会員増強に努めましょう

◇幹事報告◇

【理事会報告】

1)3月度例会について

3月05日 木 休会

3月07日 土 1634回 会長・幹事
 諏訪グループIM会員セミナー

出席者16名の予定改めて参加要請をします

3月12日 木 1635回 青少年奉仕委員会

ガールスカウト長野15団団長小日向みちほさん卓話

3月19日 木 1636回 社会奉仕委員会

大昔調査会理事長 高見俊樹氏 外部卓話
 “茶臼山城と高島城”

3月26日 木 1637回 クラブ会報・雑誌広報

日本の近代文化を支えた製糸業を通しての諏訪の歴史・諏訪の発展 part II

2)地区大会準備委員会について

なるべく早い発足したい。活発な意見交換がおこなわれたので今後に結び付けたい

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	38人	4名	11000円	本日は玉本様よろしくお願ひいたします。西澤 賢二 玉本会長様本日はお忙しい中を起こしいただきましてありがとうございます。諏訪ローターアクトの会長でいらっしゃるご子息さんとの卓話楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。太田純也 本日はローターアクトについてのお話をローターアクトの会長とともにさせていただきます。よろしくお願ひいたします。玉本 広人
出席対象	37人	累計	380000円	
出席者数	27人	目標額	60万円	
出席率	73.00%	達成率	63.30%	
前回修正	81.10%			

3)2月20日の例会の卓話について

詳細の検討を行いました

4)職場体験の協力

今年は社中学校も要請がありました。5/25-26

社中 5/28-29 下中です。御協力を

【連絡事項】

- 1) 諏訪グループIMの出席をより強く要請します。
- 2) 次年度開催「第 32 回ライラ開催」についてのお知らせが来ました。
- 3) ロータリー友の会より 2020-21 版ロータリー手帳の予約受付のお知らせが来ました。

**第 1631 回例会
諏訪ローターアクトの活動内容と
これからのお願い**

諏訪ロータリークラブ 玉本広人会長
諏訪ローターアクト 玉本祥大会長

本日の例会は、長くローターアクトの活動を支援してきた諏訪ロータリークラブ玉本広人会長とその息子さんと諏訪ローターアクト玉本祥大会長にお話を聞きました。人数的にも危機的状況を脱したとのことですが、より支援に力を入れましょう。親子で活動する姿を見て、良いものだと思います。



諏訪ローターアクト 玉本祥大会長



諏訪ロータリークラブ 玉本広人会長

Happy birthday 



今月の誕生祝 西澤会長と高林一紀会員でした

PHF(ポールハリスフェロー)



高山巖会員 3 回目でした。ご協力に感謝します

35周年記念事業 セブ島でのピアノ演奏会にご参加いただいた長野県シニア大学の学生さんから感想文が寄せられました。

外部から見た感想をぜひご一読ください

国際奉仕委員会

セブ島のピアノ演奏会

宮坂明美

2019年10月12日。日本ではこの日大変なことが起きていました。長野県内を襲った豪雨で諏訪地域に避難勧告が出ていたのです。そうとは知らず私はLapu-Lapu市のピアノフェスティバルの演奏会場に居りました。

諏訪湖ロータリークラブの皆さんが長年「セブの子供たちに音楽を」と鍵盤ハーモニカを何百台も贈呈していた事業の記念音楽会に参加させていただいたのです。それは、『ピアノカ収集寄贈活動』をシニア大学で同級生となった諏訪湖ロータリークラブ会員である渡邊さんを通じ知り、シニア大の同級生達と家に眠っている数台のピアノカを渡邊さん宅に届けた事がきっかけでした。



日本では幼稚園児から一人一台持っており音楽授業で使用し中学に入ると、皆、家で眠っている楽器です。ピアノカを届けた時はまさか現地で演奏会を聴く事などは夢のような話でした。縁あって会員の皆様とシニア大の仲間と参加できましたことは大変光栄なことでした。

音楽会でまず驚いたのは、日本ではピアノカは合奏の一楽器（一パート）なのに、14校の生徒さんはピアノカだけの合奏演奏にはオーケストラのようで驚き感激しました。どの学校も曲目、演奏スタイル、衣装にとエ夫し感動モノでした。金管楽器のマーチングバンド風であったり、オペレッタ風の演奏であったりで驚きと感動でいっぱいになりました。先生方の熱心なご指導に感動しました。また楽器を演奏（フェスティバルに参加）できる生徒さん達は、恵まれた環境で教育を受けられているのだという事も感じました。前日学校の校長先生のお活しで、まだまだピアノカを必要としていることや音楽教育（情操教育）を充実させたいとのお気持ちを聞きました。

諏訪湖ロータリークラブの皆さんはピアノカ寄贈に限らず島内の移動手段のために車（軽

トラック）を改造し寄贈して就業支援等もされているとの話を聞き、種々の無償の奉仕活動には本当に頭が下がります。こちらも感動！！です。

ピアノカ音楽会に参加させていただき、観光も楽しみ、セブ島の人々の貧富の差のある生活も垣間見ることができ自身の幸せを再認識しました。

貴重な体験をさせていただき、短期間でしただがお仲間に入れていただきましたこと心から感謝申し上げます。

今後も益々諏訪湖ロータリークラブ様のご発展ご活躍を祈念申し上げます。



思い出のセブ島

齊藤恵利

昨年の十月、思いがけず諏訪湖ロータリークラブの方々とフィリピン・セブ島に同行させていただきました。本来ならとても手の届かぬ上流社会の方々であり夢のような出来事でした。

当クラブ長年継続事業として鍵盤ハーモニカをセブ島に贈り続け、今回その少年少女達による音楽発表会を開催・設定したということでした。

それで、大々的にセブ島で事業を行っている西澤会長の会社でアメ等の詰め合わせ等の作業を少し手伝いました。

当日の発表会では、広い会場が少年少女で満員であり盛大の内にも終了しました。

おそろいの衣装で着飾り、少年少女達の喜びに満ちた輝く瞳が今でも忘れることが出来ません。私も少しお手伝い出来たことをうれしく思っています。なによりもロータリークラブの皆

さんの優しさと思いやりが心に残っております。

これからも皆様の会がますます発展するとともに皆様のご健康をお祈りいたします。大変ありがとうございました。



雑感セブ

牛山千賀子

シニア大学のお仲間の渡辺芳紀氏とのご縁で急遽ロータリークラブの皆様の旅に同行させて頂き、フィリピンセブ島行き四名の内に加えていただくことになりました。

さて、フィリピンセブ島ってどんな所？

旅は始まった。!! 興味は深深。

日本の音楽授業で使わなくなったメロディオンをフィリピンの学校の音楽授業に使ってもらおうという地味な活動を続け、今回十四校が集まり音楽フェスティバルを開くという。

前夜、学校の先生達との交流食事会があった。子供達の生活の様子、音楽の練習のことなど英語が話せれば!!と悔やまれた。

当日、会場は学校ごとお揃いの服に着飾った生徒達と保護者で満員。色とりどりの風船で飾り付けられたステージで子供達は晴れやかに立派に演奏してくれました。地域のパレードにもメロディオンで参加しているという話も漏れ聞くことが出来た。

ロータリークラブからは出演の生徒一人ずつにTシャツと金メダル、キャンディを入れた袋を渡し、こどもたちはTシャツを着て記念写真に収まった。

最後に会場全員で踊った「きよしのズンドコ節」で、会場は大盛り上がりとなった。踊りは諏訪のヤマトさんやセブ島の西澤さんの会社内で練習し、なんとか覚えたが、この企画は大成功

だったと思う。

大きな道路は舗装されているけれど道端は土や水たまりがあり、日本から送られた軽トラックを改造した乗り合いバス（軽トラックもロータリークラブで寄贈）とオートバイが通勤に生かされている。おしゃれ感はないけれど生きている、生活している人々のエネルギーが感じられた。ちょっと子供の頃にタイムスリップした感もあり懐かしさに浸った。

フルーツを買いに市場に行ったとき、乳児をだいた母親の物乞いが近づいてきた。フッ!!と30年程前中国の広州駅の前に母子の物乞いが居て本当に驚いたときと同じ位驚いた。

豊かな国で生活できていること改めて感謝しなくてはならないと痛感。

ささやかにつつましく生活している私にとって今回の旅はロータリークラブの皆様の活動を知り、頭の下がる思いでした。

この旅に同行させていただき感謝いたしております。会長様、皆様、本当にありがとうございました。

最後に、日本の子供とフィリピンの子供がメロディオンを通して交流できる機会があればと念ずるところです。

物乞いの子をだく母や 異国秋
激戦を 海原知るや 天高し

